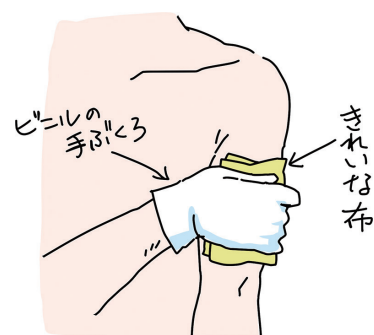


4 けがの手当てについて知ろう

けがをしたときに応急手当をする方法について考えよう。

○ 血が出たとき

きれいな布を血が出ている場所に当て、手でおして血を止めます。感染を防止するため、ビニルの手袋をはめて、直接血液にふれないようにします



○ 骨が折れたとき

骨折のおそれがあるときには、その場所が動かないように固定します。固定するときには、そえ木をあてて三角巾などで動かないようにします。



○ やけどをしたとき

なるべく早く、水道水などで冷やします。服を着ている場合は、無理に服を脱がさずに、服の上から水をかけて冷やします。



○ ^{ひと}人がたおれているとき

- ^{ちか}近くにいる^{おとな}大人に^しすぐ知らせます。
- ^{こえ}声^が掛^{はんのう}けに^{かくにん}反応するかを^{かくにん}確認します。
- ^{こきゅう}呼吸があるかどうか^{かくにん}確認します。
- ^{こきゅう}呼吸がないときは、^{しんぞう}心臓^{おこな}マッサージ
を行います。



○ ^{エーイーディー} A E D (^{じ どうたいがいしきじよさいどう き}自動体外式除細動器)

- ^{がっこう}学校のどこに^{エーイーディー} A E Dがあるかを^{かくにん}確認しよう。
- ^{エーイーディー} A E Dを^{しょうびょうしゃ}傷病者の^{よこ}横に^お置き、^おふた
をあけて^{でんげん}電源を^い入れます。
- ^{でんきよく}電極パットを^{しょうびょうしゃ}傷病者の^{はだ}肌にはります。
- ^{したが}メッセージに^{そう}従って^さ操作します。



ふりかえり
